



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月2日

上場会社名 帝人株式会社 上場取引所 東証一部
 コード番号 3401 URL <https://www.teijin.co.jp/>
 代表者 代表取締役社長執行役員 鈴木 純
 問合せ先責任者 IR部長 鳥居 知子 TEL (03)3506-4395
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有(アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期 第1四半期	214,621	△0.8	16,958	△7.1	16,861	△20.4	10,777	△44.7
2019年3月期 第1四半期	216,374	9.1	18,251	△4.7	21,194	5.8	19,481	45.4

(注) 包括利益 2020年3月期 第1四半期 △2,760百万円(-%) 2019年3月期 第1四半期 21,780百万円(△27.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期 第1四半期	56.18	53.14
2019年3月期 第1四半期	98.47	89.54

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期 第1四半期	1,002,586	416,599	39.9
2019年3月期	1,020,654	427,212	40.2

(参考) 自己資本 2020年3月期 第1四半期 400,333百万円 2019年3月期 410,727百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	30.00	—	40.00	70.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

※ 2019年3月期の期末配当金の内訳については、普通配当30円00銭と記念配当10円00銭になります。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	446,000	1.5	32,000	△11.6	32,000	△19.5	22,000	△35.1	114.69
通期	900,000	1.3	60,000	0	60,000	△0.4	41,000	△9.0	213.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 — 社 （社名） — 除外 — 社 （社名） —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期 1Q	197,953,707株	2019年3月期	197,953,707株
② 期末自己株式数	2020年3月期 1Q	6,134,139株	2019年3月期	6,141,576株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期 1Q	191,817,339株	2019年3月期 1Q	197,828,075株

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

- (1) 四半期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しています。
- (2) 四半期決算説明会内容は、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(会計方針の変更)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

1) 全般的状況

帝人グループの当第1四半期連結決算は、売上高が前年同期比で微減収（0.8%減）の2,146億円となりました。営業利益は、アラミド繊維と国内ヘルスケア事業が堅調であったものの、樹脂においてポリカーボネートの市況が大幅に悪化した影響を受け、全体で前年同期比7.1%減の170億円となりました。経常利益は為替影響による営業外損益の悪化等もあり、前年同期比20.4%減の169億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は特別損失の増加等により、同44.7%減の108億円となりました。

2) セグメント別概況

① マテリアル領域：素材市況悪化の中、高性能材料分野を中心に一定の収益を維持

売上高は1,599億円と前年同期比45億円の減収（2.7%減）、営業利益は64億円と前年同期比26億円の減益（28.6%減）となりました。

◆マテリアル事業

アラミド繊維分野では、主力のパラアラミド繊維「トワロン」が摩擦材、ゴム補強材等の自動車関連用途の販売数量においてやや減少したものの、売値・販売構成の改善が収益に貢献しました。

炭素繊維分野では、炭素繊維「テナックス」が航空機用途では順調に推移したものの、コンパウンド用途では前期終盤から続く市況低迷により販売が減少しました。

樹脂分野では、主力のポリカーボネート樹脂が汎用品で前期第2四半期以降の市況価格の大幅下落の影響を受けましたが、高付加価値品販売が収益を下支えしました。

フィルム分野では、自動車や電子部品用PENフィルム等が堅調に推移しましたが、工程用離型フィルム「ピューレックス」の販売は低調に推移しました。なお、フィルム分野に属する子会社を東洋紡株式会社に2019年10月1日付（予定）で譲渡することを決定しました。

◆繊維・製品事業

衣料繊維分野では、国内の市況影響により衣料製品販売で苦戦したものの、産業資材分野では、主に短繊維の販売が好調を維持しました。

◆複合成形材料事業ほか

複合成形材料分野では、北米のピックアップトラックやSUV等の需要増や新規モデルの立上げを背景に、米国Continental Structural Plastics社の自動車向け量産部品の販売が堅調に推移しました。

② ヘルスケア領域：「フェブリク」を中心に主力製品の好調を受け増益

売上高は398億円と前年同期比6億円の増収（1.5%増）、営業利益は105億円と前年同期比6億円の増益（6.1%増）となりました。

医薬品分野では、国内市場において、高尿酸血症・痛風治療剤「フェブリク」が順調に販売を拡大しました。

在宅医療分野では、睡眠時無呼吸症候群治療における在宅持続陽圧呼吸療法（CPAP）市場において、機器のレンタル台数が順調に伸長しました。また、在宅酸素療法（HOT）市場においても、携帯型酸素濃縮器の積極展開等により、高い水準のレンタル台数を維持しました。

新規ヘルスケア分野では、埋め込み型医療機器事業の業績が堅調に推移しました。

③ その他

売上高は149億円と前年同期比21億円の増収（16.6%増）、営業利益は13億円と前年同期比7億円の増益（106.2%増）となりました。

IT事業では、電子コミック配信サービスの売上が順調に拡大しました。また、病院向けITサービス事業も順調に推移しました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、保有意義が希薄化した株式の売却等で投資有価証券が減少したこと等により、前期末対比181億円減少の10,026億円となりました。

負債は、長短借入金の減少等により、前期末対比75億円減少の5,860億円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の減少等により、前期末対比106億円減少の4,166億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の実績や足元の事業環境を踏まえ、2019年5月9日に発表した連結業績予想を以下のとおり修正します。その際、前提となる為替レートについては通期平均で1米ドル=110円、1ユーロ=125円から1米ドル=108円、1ユーロ=123円へ見直し、また原油価格（Dubai）は通期平均でバレル当たり65米ドルの想定を据え置きます。

(第2四半期連結累計期間)

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益
前回発表予想 (A)	4,460	300	300	215
今回修正予想 (B)	4,460	320	320	220
増減額 (B-A)	0	+20	+20	+5
増減率	0.0%	+6.7%	+6.7%	+2.3%

(通期)

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
前回発表予想 (A)	9,100	600	600	410
今回修正予想 (B)	9,000	600	600	410
増減額 (B-A)	△100	0	0	0
増減率	△1.1%	0.0%	0.0%	0.0%

(参考) セグメント別業績見直し

(単位：億円)

	売上高		営業利益	
	第2四半期 (累計)	通期	第2四半期 (累計)	通期
マ テ リ ア ル	3,400	6,860	140	285
ヘ ル ス ケ ア	760	1,500	185	310
そ の 他	300	640	25	75
消 去 又 は 全 社	-	-	△30	△70
合 計	4,460	9,000	320	600

記載されている商品やサービスの名称等は、帝人グループまたは該当する各社の商標もしくは登録商標です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	100,592	94,923
受取手形及び売掛金	194,241	180,681
有価証券	33,000	36,000
商品及び製品	98,727	102,960
仕掛品	11,556	11,936
原材料及び貯蔵品	35,597	34,506
その他	50,722	51,152
貸倒引当金	△582	△536
流動資産合計	523,854	511,621
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	64,159	62,066
機械装置及び運搬具(純額)	105,908	103,895
その他(純額)	97,819	110,206
有形固定資産合計	267,887	276,167
無形固定資産		
のれん	32,845	30,480
その他	36,664	34,783
無形固定資産合計	69,510	65,263
投資その他の資産		
投資有価証券	96,179	85,237
その他	64,894	65,935
貸倒引当金	△1,670	△1,637
投資その他の資産合計	159,403	149,535
固定資産合計	496,800	490,964
資産合計	1,020,654	1,002,586

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	93,499	90,737
短期借入金	104,265	102,990
1年内返済予定の長期借入金	7,662	27,606
1年内償還予定の社債	15,000	15,000
未払法人税等	6,879	3,333
事業構造改善引当金	81	10
その他	72,819	62,610
流動負債合計	300,205	302,285
固定負債		
社債	20,039	20,035
長期借入金	220,583	198,071
事業構造改善引当金	—	3,411
退職給付に係る負債	37,553	37,411
資産除去債務	2,645	2,644
その他	12,417	22,129
固定負債合計	293,237	283,701
負債合計	593,442	585,986
純資産の部		
株主資本		
資本金	71,833	71,833
資本剰余金	104,256	104,253
利益剰余金	235,324	238,419
自己株式	△13,412	△13,396
株主資本合計	398,000	401,109
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,720	20,112
繰延ヘッジ損益	△52	△113
為替換算調整勘定	△11,402	△18,602
退職給付に係る調整累計額	△2,538	△2,173
その他の包括利益累計額合計	12,728	△776
新株予約権	889	905
非支配株主持分	15,595	15,361
純資産合計	427,212	416,599
負債純資産合計	1,020,654	1,002,586

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	216,374	214,621
売上原価	147,656	146,957
売上総利益	68,718	67,664
販売費及び一般管理費	50,467	50,706
営業利益	18,251	16,958
営業外収益		
受取利息	264	256
受取配当金	1,195	564
持分法による投資利益	271	390
為替差益	—	1,477
デリバティブ評価益	2,902	—
雑収入	377	212
営業外収益合計	5,009	2,899
営業外費用		
支払利息	812	899
為替差損	881	—
デリバティブ評価損	—	1,680
雑損失	373	417
営業外費用合計	2,066	2,996
経常利益	21,194	16,861
特別利益		
固定資産売却益	250	21
投資有価証券売却益	472	3,704
受取和解金	4,500	—
その他	15	15
特別利益合計	5,236	3,740
特別損失		
固定資産除売却損	225	159
減損損失	52	1,698
事業構造改善費用	6	3,411
その他	56	275
特別損失合計	339	5,542
税金等調整前四半期純利益	26,092	15,059
法人税等	6,403	4,000
四半期純利益	19,689	11,059
非支配株主に帰属する四半期純利益	208	282
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,481	10,777

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	19,689	11,059
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,593	△6,900
繰延ヘッジ損益	△144	△60
為替換算調整勘定	974	△7,093
退職給付に係る調整額	△142	322
持分法適用会社に対する持分相当額	△190	△88
その他の包括利益合計	2,091	△13,819
四半期包括利益	21,780	△2,760
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,462	△2,727
非支配株主に係る四半期包括利益	318	△34

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

一部の連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(会計方針の変更)

帝人グループのIFRS適用子会社は当第1四半期連結会計期間の期首から、IFRS第16号「リース」を適用しています。これに伴い、借手のリース取引については、原則すべてのリースについて使用権資産およびリース債務を認識するとともに、使用権資産の減価償却費とリース債務に係る支払利息を計上しています。本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しています。この結果、当第1四半期連結会計期間期首の有形固定資産その他(純額)が9,458百万円、流動負債その他が847百万円、固定負債その他が8,611百万円それぞれ増加しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	マテリアル	ヘルスケア	計		
売上高					
(1) 外部顧客への 売上高	164,353	39,223	203,575	12,799	216,374
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	325	0	325	1,620	1,945
計	164,678	39,223	203,901	14,419	218,319
セグメント利益	8,991	9,917	18,908	647	19,555

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ITサービス分野等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	18,908
「その他」の区分の利益	647
セグメント間の取引消去	116
全社費用(注)	△1,420
四半期連結損益計算書の営業利益	18,251

(注) 全社費用は配賦不能営業費用であり、その主なものは、本社管理部門に係る費用です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しています。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2019年4月1日至2019年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	マテリアル	ヘルスケア	計		
売上高					
(1) 外部顧客への 売上高	159,867	39,830	199,697	14,924	214,621
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	190	16	206	1,514	1,720
計	160,057	39,846	199,903	16,438	216,341
セグメント利益	6,422	10,522	16,944	1,334	18,279

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ITサービス分野等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	16,944
「その他」の区分の利益	1,334
セグメント間の取引消去	50
全社費用（注）	△1,371
四半期連結損益計算書の営業利益	16,958

（注）全社費用は配賦不能営業費用であり、その主なものは、本社管理部門に係る費用です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しています。